

## 【卓球】

### 世界ジュニア卓球選手権大会

11月24日から29日まで、コラート（タイ）で開催された2019年度世界ジュニア卓球選手権大会にJOCエリートアカデミーから宇田君、長崎さん、木原さん、小塩さんの4名が日本代表として出場し、個人種目で金メダル3個を獲得するなど大活躍をみせました。

4名は団体戦でも日本チームの中心となって活躍し、女子は銀メダル。男子は準決勝で中国と対戦し、4時間を超える接戦でしたが、惜しくも敗れ銅メダルという結果でした。

今大会でのタイトル獲得数は、中国が「4」、日本が「3」と伯仲する結果となりました。

#### ○女子シングルス

決勝は長崎さんと小塩さんのアカデミー生同士の対戦となりました。二人は準々決勝で中国の主力選手を破っての決勝進出となりました。

試合はゲームカウント4対2で、長崎さんが日本人初となる世界ジュニア女子シングルス優勝という結果を収めました。しかし、敗れた小塩さんも、中国選手を破っての準優勝であり、非常に価値のある銀メダルとなりました。



【卓球協会HPより】

#### ○女子ダブルス

今大会の前に行われたオーストリアオープンで優勝し、勢いのある長崎さんと木原さんのペアが、実力を発揮し、決勝でも中国ペアを3対0で圧倒し優勝を果たしました。

長崎さんは女子シングルスと女子ダブルスの二冠、木原さんは女子ダブルスと混合ダブルスの二冠を達成しました。



【卓球協会HPより】

#### ○混合ダブルス

宇田君と木原さんのペアが、準決勝・決勝共に中国ペアを破り、日本人ペアとして初優勝を飾りました。



【卓球協会HPより】

## オーストリアオープン

11月12日から17日までリンツで開催されたオーストリアオープンで長崎さん・木原さんのペアが、優勝しました。

このペアは10月のドイツオープンで準優勝を果たしており、今大会でも勢いのあるプレーで、シニアのワールドツアーで初優勝を飾りました。

また、木原さんは女子シングルスでもベスト16に入る活躍を見せました。

## 【レスリング】

### 全国中学選抜選手権大会

第10回全国中学選抜選手権大会が、駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場（東京）で、611名の中学生レスラーが参加して開催されました。

38kg級に出場した吉田君は、1回戦から出場し準決勝まで失点なしのテクニカルフォールやフォール勝ちで決勝に進出しました。決勝戦では、1ラウンドに不意の投げ技等で失点しましたが、持ち前の攻撃的なレスリングで2ラウンド反撃、13対3のスコアで勝利し、1年生優勝の快挙を成し遂げました。

ガレダギ君は準決勝まで危なげ無く進み、決勝では終盤までリードしていましたが、ラスト20秒で逆転され、悔しい準優勝となりました。

菅野君は順々決勝まで安定した試合内容で勝ち上がりましたが、準決勝で得意の腕取りがカウンターされて失点し、敗れました。しかし3位決定戦では、開始31秒でテクニカルフォール勝ちし3位となりました。

高根澤君は3回戦まで全てテクニカルフォールで勝利しましたが、4回戦では同階級で本年2位の選手と対戦、得意のタックルが決まらず失点を重ね惜しくも敗れ、ベスト16という結果に終わりました。



## 女子ワールドカップ

女子ワールドカップ2019が、11月15日から18日まで成田中台運動公園（千葉県）で開催され、鏡さんが日本チームの一員として出場しました。

1日目、予選A組の日本は1回戦でウクライナに勝利すると、次に過去6度優勝の中国と対戦。6対4で勝利し、決勝進出を果たしました。

2日目、決勝はB組1位の米国と対戦し、7対3で勝利し、日本は2014年から5大会連続（2016年は実施なし）、通算11回目の優勝を果たしました。鏡さんは、社会人や大学生主体の日本チームの中、高校生として活躍しました。決勝でも72kg級に出場し、3対1で勝利、優勝に貢献しました。

なお、この大会には修了生の須崎さん（早大）も、出場し、日本チーム優勝に大きき貢献しました。



【日本レスリング協会HPより】

## 【アーチェリー】

### ナショナルチーム選考会

2020年の東京オリンピック競技会第一次選考会を兼ねた2020年ナショナルチーム選考会が、11月12日から14日までオリンピック予選会場となる夢の島公園アーチェリー場で開催されました。

ナショナルチーム選考には16名が出場し、3日間で8名に絞るという形式で行われました。園田さんは、1日目は全体の2位という好調な滑り出しでしたが、2日目にリズムを崩し、最終的には6位で通過しました。これにより、2月に行われる東京オリンピック競技会第二次選考会への出場が、確定しました。

一方、U20ナショナルチーム、U17ナショナルチーム選考は、それぞれ8名が出場し、4名に絞るという形式で行われました。

U20で渡邊さんが4位、U17には野田君が2位、伊藤君が3位、渋谷さんが2位で、それぞれナショナルチームのメンバーに選考されました。

出場した4名全員は、最低目標ラインはクリアできましたが、それぞれに課題も見えてきました。特に、プレッシャーのかかる大会で、安定したパフォーマンスを発揮し続けることの難しさを痛感しました。

公益財団法人 日本オリンピック委員会  
JOCエリートアカデミー事業  
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1  
味の素ナショナルトレーニングセンター  
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

## 【北区立稲付中学校】

### 文化発表会

11月2日、“「伝統と革新」一咲き誇れ！稲付の花”をテーマに令和元年度稲付中学校文化発表会が行われました。プログラムは「合唱の部」と「舞台の部」の2部構成で、アカデミー生は「合唱の部」に出演しました。

「合唱の部」は、クラス毎に課題曲と自由曲の2曲をクラス全員で歌うもので、どのクラスの発表も非常に立派で、甲乙つけがたい歌声でした。

アカデミー生もそれぞれのクラスの中で、大きく口を開けて精一杯歌っていました。また、競技の関係で十分な練習ができなかったアカデミー生もいましたが、クラスに溶け込んでしっかりと歌えていたのが印象的でした。

1年の高根澤君は「合唱の部では仲間と協力し、本番に臨みました。優勝することができましたが、結果発表の場には、練習の関係で出られませんでしたが、練習のお陰で優勝できてよかったです」とコメントしています。

また、吉田君は「合唱を通して、クラスの生徒とも仲良くなれた気がしました。金賞を取ることはできませんでしたが、自分としては全力を出し切れたので良かったです」とコメントしています。



（3年2組：三列目中央が木原さん）

## 【教育プログラム】

### 英会話プレゼンテーション

11月30日、第2回目の英会話プレゼンテーションが行われました。

アカデミー生がペアになって、「宮沢賢治」「相撲」「自分の故郷」「浅草」「京都」「花火」「寿司」「沖縄」など様々なテーマで発表しました。また、その際は講師がテーマに合った映像を流して、より盛り上がりました。発表内容や声の大きさなど、第1回を上回るものでした。

## 保護者個人面談

JOCエリートアカデミーでは毎年11月から12月にかけての約1か月間、保護者個人面談を行なっています。目的は『アカデミー生の状況やJOCエリートアカデミーの活動について保護者と共通理解を図り、今後の指導や事業活動に活かしていく』ことです。

今年度は11月9日から12月14日までの実施しており、今回も全ての保護者が面談に参加しています。